

* ひとりじゃないよ! 仲間がいるよ! *



りんりん会報

~ No.64 ~

Rin Rin

H24. 5月発行



りんりんの会 会報に寄せて

大崎市民病院乳腺外科科長 吉田龍一

桜も終わり、ゴールデンウィークも終わり、いよいよ新緑の季節がやってまいりました。

りんりんの会みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

今回から、りんりんの会会報に私の拙文を載せてみることにしました。乳がんのことだけでなく思いついたことを徒然なるままに書いてみようと思います。

とは言え、今回は最近の乳がんの治療についてお話しします。これまでも、りんりんの会の講演などで何度か話したので知っている方もいらっしゃると思いますが、おさらいのつもりで読んで下さい。

世界で初めて全身麻酔で乳がんの手術をしたのは江戸時代の医師、華岡青洲です。なんと、日本人が最初なのです。1804年のことです。それまでは焼いたりえぐったり、野蛮な方法で行っておりました。そして19世紀末にはアメリカのハルステッドらにより乳がんの手術方法が確立され、何と1970年代までその方法がなされていました。1980年代に入り乳房温存療法がなされるようになり、2000年頃からセンチネルリンパ節生検がなされ、腋窩郭清をしないで済む方が増えてきました。こうしてみると、手術にはあまり劇的な変化はありませんでした。

それに比べ薬物療法は大きく変化し、1970年代にタモキシフェン（ノルバデックス）が開発され、同時にホルモン受容体の研究が進み、90年代からアロマターゼ阻害剤（アリミデックス、アロマシン、フェマール）が登場し、手術療法だけでは限界にあった治療成績が飛躍的に伸びました。また、化学療法も抗がん剤が次々と開発され、これもまた治療成績の向上に大きく貢献しました。最近では標的治療というがん細胞のみを狙った治療薬がたくさん開発され、さらなる治療成績の向上が期待されています。そして、臨床試験が盛んになされるようになったことで、より効果の高い治療を選択する事ができるようになり、かつこの病院でも同じ治療が受けられるようになりました。また再発した患者さんの治療成績も以前に比べれば目を見張るほどの進歩が見られ、長期にわたって生き長らえる人が多くなりました。さらに、薬物だけでなく、画像機器の進歩や検診システムの精度管理により、より早期に発見される患者さんが増え、抗がん剤を使わなくても治癒しうる方も増えています。

乳がん治療の大きな流れは、手術療法から薬物療法へシフトしつつありますが、もちろん手術が不要になったわけではありません。手術単独ではなく、薬物療法や放射線治療などを組み合わせることで治癒する可能性がさらに高まったのです。もはや外科医が1人で診る時代ではなく、腫瘍内科医や放射線科医、看護師、薬剤師、ソーシャル・ワーカー、臨床心理士、リハビリテーションなど、多くの方がチームを組んで、ひとりの患者さんを共有して診るという時代となったのです。

しかし、逆に治療費は高額となり、患者負担の増加が懸念されていると同時に、治療を受けながらの就労や子育てなどの社会的問題も噴出してきました。つまり、単に治療するだけでなく、患者さんを取り巻く環境整備も非常に重要と認識されてきたということです。

患者会というのはそんな環境整備の一翼を担っており、患者の不安の解消や互助会的な面をもち、また広く社会に検診の必要性などがん撲滅への啓蒙の役割も担っています。私も、がん告知された方の不安解消の目的でりんりんの会を紹介しています。『ひとりじゃないよ』なかなかそう思えませんよね。りんりんの会は皆さんのためだけでなく『新人』さんのためにも大切な会です。これからも皆さんと一緒にりんりんの会が大きく発展していけるように願っております。



* りんりん総会・Dr吉田の乳がん講座の報告です *

● 3月24日(土)9時30分～12時 市民病院職員休憩室にて開催

- * 参加者：34名（病院スタッフの方々の参加もありました。）
- * 総会（23年度の事業報告・決算報告・24年度の計画案・スタッフ協力のお祝い等）の終了後に、吉田先生の講演がありました。
- * 『最近、思うこと』と題して、原発事故も含め震災を通して思うこと、放射線被ばくについて、死生観や人生観、抗がん剤等の乳がん治療について、身近な新病院に期待すること、普段外来で思うこと（病院や医者に対する苦情 etc）、医者が無力だと思うとき、日本の医療の将来、日々考えること等についてのお話がありました。

～当日の参加者の方々から感想をいただきました！～

- ・ スライドを使っただけの先生の思っていることを聞くことが出来て良かったです。
- ・ さまざまな分野のことを先生は考えているんだな～と思いました。
- ・ 病気関連だけのお話ではなく、幅広くとらえている先生のお考え等から、先生の誠実さを感じられました。
- ・ 検査の度に患者の事を心配して下さる気持ちに本当に感謝！！感謝です。いつまでも見守っていて下さい。
- ・ 吉田先生のユーモアにたくさん笑わせていただきました！
- ・ 「医師」という肩書きだけだと、話すのにも緊張してしまいますが、今回のお話を聞いて、温かい人柄を感じました。また、カンペなしの方が本音を聞くことが出来た感じがして良かったです。

* 情報交換・交流・相談会の報告です *

● 4月28日(土)9時30分～11時30分 市民病院職員休憩室にて開催

- * 参加者11名（初参加の方が1名！ 勇気ある一歩に拍手です。）
- * 輪になり、お茶とお菓子をいただきながら、一人ずつ病気の経緯や気持ちのあり方等、話せる範囲内でゆっくりと言葉に出していただきました。
- * 途中から吉田先生も顔を出していただき、より内容の濃い相談会の形となりました。（お休みににもかかわらず、りんりに参加していただき、とてもありがたく思いました。感謝ですね。）
- * 心の浮き沈みがあって、泣いてしまうことも…という方や、先生に質問し、更に体験者の話を聞いて安心された方など、それぞれにホッとされて帰られた方が多かったように思いました。
- * 昨年からの悲しい出来事が続いていましたが、皆さんそれぞれ違うこと、自分に置き換えてしまわないこと、そして、どなたかの心に残るような生き方を…という先生からのお話が心に残りました。そんな生き方を心掛け、日々笑顔を忘れずに過ごして行けたら…と思い、今後も継続して、そうありたいと願っています。

★事務局より今後のりんりん活動のお知らせです★

- 😊 6月23日(土)：『病気と食事』（仮題）の勉強会（講師：市民病院管理栄養士）
※ 9時30分～市民病院職員休憩室。予約不要・関心のある方はどなたでも参加可能です。
- 😊 7月28日(土)：治療中のメイクアップセミナー（講師：ビューティカウンセラー）
※ 市民病院職員休憩室にて開催予定。
※ 事前予約必要・参加費1,000円・20名限定（後日、会員の方に申込書を郵送します）
- 😊 今回から『りんりん会報』に、吉田先生のエッセイを掲載させていただき運びとなりました。毎回の会報が更に充実した内容になりますね！ 次回の会報もお楽しみに！！

【連絡窓口】

大崎市民病院相談支援センター ☎0229-23-3311